

企業名：エステー

レポート名：企業価値の創造報告書 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

「空気を通して暮らしを明るく元気にする」というビジョンが明記され、会社の目指す姿が理解できる。またその独自の空気ビジネスの新技术を活かし、事業を通じて社会課題の解決に貢献することで社会の期待に応え、グローバルに展開する空気ビジネス総合グループを目指していくとも明記されている。以上のようにこの会社の展望が具体的に明記されているため、目指す姿は十分理解できるといえる。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

高い技術力を有した日本企業への信頼をもとに、国内の社会課題解決に向き合う事で培ったノウハウ・新技术を、世界へ展開しており、世界への貢献という面で競争優位性が理解できる。また「空気ビジネス」の新機軸をもととして、これまで時代の社会課題を解決するために、新機軸を打ち出し、新技术で市場を切り拓いてきた経歴がある点も優位性といえる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

上記の競争優位性は、今後も「空気ビジネス」の新機軸を第一の成長軸として新技術による市場創造に取り組むことを明記しているため、持続的であると考えられる。また、少子高齢化や人口減少などの社会課題とグローバルな環境意識の高まりに対して、独自の空気ビジネスの新技術や温熱技術等を活かして新分野・新市場の開拓に挑戦するとともに、循環型事業に取り組むと述べており、競争優位性は保たれると考えられる。今日コロナ禍において空気の綺麗さは重要視されるとともに、今後も感染症への対策として空気の清浄化は必要なことである。したがって空気ビジネスはしばらく発展すると考えることができ、その競争優位性も保たれる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

明確な経営理念をもとに、コロナ禍においても売り上げを落とすことなく経営を行っている点で、この先の企業の成長が見込めるため、自らもこの企業で成長できると考えられる。またコーポレートガバナンスにも書かれているように、情報開示が行われ、企業の不透明さが解消されている点でも優れた企業であると考えられる。役員にも男女両

方選任されており、今日の社会的風潮にもしっかり沿っていると考えられる。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

本報告書は企業のビジョンが明確に書かれている一方で、その具体的な方法が不足しているように感じる。グローバル化の推進や空気ビジネスの展開を行うとは述べられているが、その計画の具体的なプランをもう少し書く改善が行える。